

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 342 号	氏名	荒木 美幸
学位審査委員	主 査	森内浩幸	
	副 査	森 望	
	副 査	蒔田直昌	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、従来から様々な検討が加えられてきたにも関わらず不明瞭な点が多い「妊婦の受けるストレスが胎児の発育に及ぼす影響」にアプローチしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 映画フィルムを用いて positive (喜び) と negative (悲しみ) の二つの情動を妊婦に惹起させ、胎児の体幹・上肢・下肢の動きを同時に連続的に超音波検査で捉え、妊婦の受けた情動が胎動に及ぼす影響を解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、妊婦の喜びの情動は胎児の上肢の動きを増加させ、悲しみの情動は逆に減少させることを明らかにし、さらに前者の影響が比較的短時間で消失したのに対し、後者の影響はより持続的であることもわかった。これらの結果により、妊婦の情動と胎児の発育や健康との関わりについての研究が今後益々進展することが、大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は母子保健研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			